

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | | |
|----------|----|---|-----------------------|-----------------------|--|---|
| ヒュッテキンダー | | 令和7年 6月 29日 | | | | |
| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | <input type="radio"/> | | 最低人員に加えて加配を付けています。複数人での配置の確認を行っています。 | 人員配置としては適当な人数の為、導線の見直しや職員のスキルアップで補っています。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | <input type="radio"/> | | | サービス提供前後の清掃、アルコール消毒、備品の消毒、1時間毎の換気等々、生活空間を心地よく過ごせる環境に努めています。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | <input type="radio"/> | | | 感染予防対策をしながら、今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | <input type="radio"/> | | サービス開始前中後の打ち合わせと振り返りを行っています。 | ケース会議ではなるべく出勤者の多い日に設定し、多くのスタッフが参加できるよう工夫していきます。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | 令和7年5月から6月にかけて保護者の方にアンケートを募り、全体ミーティングにおいて改善点等の会議を行いました。 | 評価表以外でもご意見を頂きやすい環境を作っていけるよう工夫していきます。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | <input type="radio"/> | | 現在、当事業所では実施していません。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | <input type="radio"/> | | 虐待防止等の社内研修を定期的実施しています。 | 社内研修の充実化を図り、教える側のスタッフも学べる機会を増やせるよう工夫していきます。 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | <input type="radio"/> | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | <input type="radio"/> | | アセスメントに時間を多くとるようにしています。面談やアンケートにて、保護者の方のニーズを把握できるよう努めています。 | 利用児、保護者様のニーズを分析し、関係機関とも連携を図り、支援計画を作成する。また、更新時期以外でも保護者からの要望、児の様子に変化があれば適宜見直しを行っています。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | <input type="radio"/> | | 児童発達支援管理責任者を中心に作成していますが、関わる職員すべてに聞き取りを行い反映しています。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | <input type="radio"/> | | 支援計画に沿った支援内容、記録方法を行い、統一した支援を実施できるよう工夫しています。 | 利用児に対して担当のスタッフが決まっていないため、どのスタッフが支援しても目標達成計画が共有できるよう、打合せを念入りに行っています。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | <input type="radio"/> | | 年に一回以上、障がいの度合いに応じて二回以上の更新をしています。社内共有の独自のアセスメントツールを使用しています。 | アセスメントツールを使用できるスタッフを増やしていけるよう研修など実施してきます。 |

| | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | 個々のニーズに沿った計画立案しています。 | 利用児、保護者のニーズ、課題に沿った「発達支援」「家族支援」「地域支援」の中で必要な支援を検討、選択し計画、作成している。また、計画書を提示、説明の際、要望等があれば内容の再検討を行っています。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | 季節に応じたイベント、音楽、遊び及び創作物を企画しています。 | スタッフ同士の意見交換が活発になると相乗効果が生まれ、企画、立案に役立っているため、意見交換がしやすい環境を作っています。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | 季節ごとに音楽、遊び及び創作物を企画しています。 | 季節ごとの行事、個別のスケジュールに沿ってプログラムを立てています。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | 個々の特性に応じて目標に沿った計画立案、作成しています。 | 利用児の体調、ソーシャルスキルに合わせて、個別、集団活動を検討、計画、作成しています。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | 毎朝、活動内容、役割分担、支援内容等確認しています。当日だけでなく前回の内容も合わせて共有しています。 | 個々の日程、願い、保護者の思い等をスタッフ間で共有のミーティングを行っています。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | 全員が発言できるよう工夫しています。 | 日頃から一日の振り返りの中で気づいた点があれば、スタッフ間でミーティングをし、共有事項としています。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | 記録の書き方について、必要に応じて指導しています。 | スタッフ、保護者間の連絡を記録し、連携、共有する。どんな教材、教具等を使用したか具体的に記述することを意識しています。 |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | 過去の記録をもとにモニタリングを実施しています。都度アセスメント、モニタリングしながら目標設定が高い場合は低くする等の工夫をしています。 | 6ヶ月に一度モニタリングの実施と相談支援、他事業所からのモニタリング時に、情報の共有をしています。今後も丁寧に見直しを行います。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | 必要に応じて児発管がリモートで参加しています。 | 重症児デイにより、医療的ケアを要する利用児にかかわっている看護師が参加している。今後も情報交換の場を作り、連携を図っていきます。新しいスタッフにも担当者会議の役割について説明してきます。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や強力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 保護者様を通じて関係機関と連携し、担当者会議等に参加しています。施設の看護師を中心にミーティングをし、医療的ケアの支援を行っています。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | 必要に応じて電話等で情報共有しています。実際に見学していただいたり、書面で情報共有することもあります。 | 保護者を通して他の施設からの申し出があった時のみ共有しています。保護者の方にもそのようなニーズに対応していることをお伝えしていきます。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | 必要に応じて情報共有しています。 | 保護者を通して他の施設からの申し出があった時のみ共有しています。保護者の方にもそのようなニーズに対応していることをお伝えしていきます。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | ○ | | |
| | 30 | (自立支援) 協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | ○ | 近隣地域の事業所が集まり、定期的の実務者会議を実施して情報交換等連携を図っています。 | 事業所連絡会の役割などを事業所内で共有することができていないため、周知していく方法を検討してきます。 |
| 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | ○ | 定期的集まり、リモート等で他事業所と情報交換や研修を行っています。 | 管理者のみに関わらず、多くのスタッフが参加できるよう工夫していきます。 | |
| 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。 | ○ | | 今後、利用児の体調等慎重に観察し、実施を検討します。 | |

| | | | | | | |
|------------|----|--|---|---|--|--|
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 必要に応じて電話連絡や面談を行い、子供の状況やケアについて共有しています。フィードバックの際に様子等を聞くように意識しています。 | 今後も気軽にお声がけ頂けるような雰囲気を作っていくよう意識していきます。 |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施してきます。 | 研修を行い、スキルの向上を図り、実施していくように努めていきます。 |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に詳しく説明をし、重要事項説明書の中で詳細を説明するほか随時質問も受け付けています。 | 今後も懇切丁寧な説明を心がけていきます。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | 個別支援計画書について、ご要望の聞き取りや確認を行うことでニーズをくみ取る工夫をしています。 | ゆっくりとした時間を取れていないため、お時間を取ってお話ができるように工夫していきます。 |
| 保護者への説明責任等 | 38 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 必要に応じて随時面談の機会を設けています。相談内容により児発管、看護師も加わり対応しています。 | フィードバック中などで伝えきれない場合は、後日、別途時間をつくり伝えるなどしています。 |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | | 保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討します。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 保護者からの相談については、随時受け付けていることを周知しており、迅速かつ適切に対応しています。 | 苦情受付窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。重要事項説明書に詳細を記載し、契約時に懇切丁寧に説明しています。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 事業所独自で掲示物を作成するなどして活動内容が分かりやすくなるように工夫しています。 | HP上でもHutteだよりの発信を検討していきます。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 43 | 障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 個々に分かる伝達方法を使用しています。（タブレット、イラスト、写真、絵カード等） | 今後も子どもの理解度に合わせた指示の仕方など配慮していきます。保護者の方には気軽に声をかけていただけるよう、普段からコミュニケーションをとることを意識していきます。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | ○ | | 地域の方をお呼びして行事等は行っておりません。今後、検討します。 |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | マニュアルは作成していますが、保護者へは周知されていません。スタッフに対しては、定期的に研修を行っています。 | 事業所内での共有には努めていますが、保護者の方には閲覧用マニュアルの設置を検討していきます。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 事業所内でAEDの研修やスタッフが救命講習に参加し、緊急時に備えた対応を身につけています。 | 火災、消火、地震、救急処置等の訓練を定期的に行っています。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 母子手帳の確認や発作等の聞き取りをしています。知識をつけるための研修を実施しています。 | 対象児童についての情報共有だけでなく、基礎知識をつけるための研修など今後も継続的に実施していきます。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | アレルギーのある子は食介プレートを大きくし、スタッフ全員が把握できるように細かく記入しています。 | 保護者様を通じて、必要に応じて主治医より指示書をいただき、食物アレルギーに関しそれに基づく対応をしています。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 職員研修を行いつつ、また、近隣の危険な個所の確認を行っています。 | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | 安全改革を策定しているが、保護者には周知できていないのが現状です。周知を徹底していきます。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 | ○ | | ファイルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。 | 今後も研修などで理解を深めていきます。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 定期的に研修を行っています。 | 今後も研修などで理解を深めていきます。 |

| | | | | |
|--|--|---|---|--|
| | 53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | ○ | 契約時に詳しく説明をし、承諾書にサインをしていただき、保護者の了承を得ています。マニュアルの内容を共有しています。 | スタッフ一人ひとりが、拘束を安易に正当化することなく、身体拘束をしないケアの実施に努めています。また、研修などで理解を深めています。 |
|--|--|---|---|--|

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ヒュッテキンダー

公表日 令和7年 6月 29日

利用児童数 8名

回収数 6名

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------|--|--|----|---------------|-----|-------|-----------------------------|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 5 | 1 | | | 日々の過ごしている様子を、写メ等で送ってほしいです。 | 許可を得た保護者の方々にメール等で写メを送信しています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 4 | | | 2 | スタッフの方々の写真や紹介の更新をしてほしい。 | 今後、会報にて、当事業所の職員に関する情報を発信していきます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすい構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 5 | | | 1 | | 活動場所ごとにエリアを分けたり、視覚により、今、何をするのか提示しています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 6 | 1 | | | いつも綺麗に清掃されていて清潔感があります。 | 安全管理のため利用児が帰所した後に窓を開けて換気及び消毒をしております。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 6 | | | | | 保護者間、スタッフ間で日頃の様子を伺い、主観に偏らないよう確認しながら作成に努めます。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 6 | | | | 適宜面談と計画の見直しを行っていただいている。 | 児童発達支援計画は保護者意向を十分に受け止めて、相談支援事業所と連携して作成し、それに基づき支援しその上昇に応じた見直しをしています。 |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 6 | | | | | ガイドラインの内容を踏まえて、支援計画を作成しております。今後もより充実した支援を提供できるよう工夫してまいります。 |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | | 個別支援計画の作成時に、個別にご説明いたします。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 3 | 1 | | 2 | | |
| 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 1 | | | 5 | | 地域の行事等に参加し、交流の機会を持てるよう努めます。 | |
| 保護者 への 説明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 6 | | | | | |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 5 | | | 1 | | 面談、送迎時の際にお話ししきれない場合は、電話等でお話させていただくか、改めて面談の機会を設け |
| | 14 | 事業所では家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加出来る研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 3 | 1 | 1 | 1 | | 保護者の皆様にとって身近で気軽に相談できる事業所でありたいと思っております。お気軽にご相談ください。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 6 | | | | | 電話、SNS、面談の設定も臨機応変に対応させていただきますのでお気軽にご相談ください。 |
| | 16 | 定期的に、面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 5 | 1 | | | 面談はないですが、意見交換はしています。 | 必要なサービス等についてなど、情報提供できることを増やしていけるよう努めます。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 1 | | | 5 | 父母の会や保護者同士の繋がりはほぼない。 | 現在、実施しておらず、今後は必要に応じて検討してまいります。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|---|--------------------------------|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 6 | | | | 困ったことがあった時に、迅速に相談に乗っていただいています。 | お気軽に相談いただける環境づくりを意識しております。気になることなどありましたらお声がけください。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 5 | | | 1 | | 保護者の方々からいただくお話をとても参考にさせていただいております。今後も情報共有させていただけると幸いです。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 6 | | | | 会報を見ていると楽しいです。 | 会報の頻度、内容の向上に努めます。ホームページは近日中にリニューアルする予定です。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分注意されていると思いますか。 | 6 | | | | | 個人情報を書かれた書類等は、鍵付きの倉庫にて事務所内に保管しており、十分注意を払い保管しております。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 3 | | | 3 | | 施設内にマニュアルを常設しております。契約時等で保護者の方への周知に努めます。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。 | 1 | | | 5 | | 定期的に災害に備えた訓練をしています。情報発信にも努めます。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 5 | | | 1 | | 非常時の対応について、事業所と保護者が共有できるように情報発信と丁寧な説明をしています。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 6 | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 5 | | | 1 | 子供が通所する回数を増やしたいと希望しています。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 6 | | | | 入浴ができれば嬉しいです | 今後もより質の高い支援を目指すべく努めてまいります。 |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------------|-----|-------------|
| ○事業所名 | Hutte Kinder (ヒュッテキンダー) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 5月 1日 | | 令和7年 5月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 6名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 5月 1日 | | 令和7年 5月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11名 | (回答者数) 11名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 6月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 環境整備や人員配置が整っていること | 当日の利用児のケア内容、状態によって個々の利用児の特性に応じた環境整備を行っています。最低人員に加えて加配を付け、他施設とも連携を取り柔軟な応援体制を組んで、利用児に合わせ適切な人員配置を行っています。複数人で配置の確認を行っています。 | 環境については動線の見直しを行ったり、職員間で意見交換をし、さらなる向上を図っていきます。職員のスキルアップのため、研修制度やOJTの充実を図っていきます。 |
| 2 | 一人一人に応じた支援の提供 | 連絡帳や、保護者とのメールのやりとりを通じて、利用児の状況を把握し、スタッフ間で共有しています。活動プログラムが固定化しないよう季節ごとの行事を盛り込み充実を図っています。関係機関との連携を取り、一人一人の状態の把握に努めています。 | 一人一人の現状に合った活動プログラムが提供できるよう、保護者との連絡を密にとり、スタッフ間での情報共有に努めていきます。活動プログラムのさらなる充実を図るため職員同士でアイデアを出し合ったり、共通理解を深めることで、一人一人にあった支援を提供していきます。 |
| 3 | (子ども及び保護者の)満足度 | 日々の記録を丁寧に書くことや送迎時に職員から保護者への丁寧な説明を心がけ、施設内での利用児の様子について、保護者に伝えることができるようつよめています。 | 今後も職員一人一人が保護者説明を丁寧に行えるよう心がけ、子ども及び保護者のニーズの把握に努めていきます。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1 | 地域交流 | 体調が安定しない利用児もいるため出かけるなどの機会が難しい場合があります。 | 外部や関係機関との連携を通して関係性を構築し、今後は交流する機会を設けていきます。 |
| 2 | 家族支援 | 保護者同士の交流の機会が少ないです。 | 保護者や利用児のニーズを把握したうえで、必要な家族支援を企画、運営していくよう努めます。 |
| 3 | 非常時対応についての保護者への周知 | 施設内で避難訓練などを行っていますが説明不足でした。 | 今後、ホームページやおたより、連絡帳に記載するなどして保護者への情報の発信を検討していきます。 |